

会長挨拶

岡山県知事 三木 行治

本日ここに第15回岡山県畜産共進会和牛の部の褒賞授与式を挙げるにあたりまして一言御挨拶を申し上げます。

今回の畜産共進会は都合によりまして和牛の部と乳牛の部とを分けて行うことになりまして和牛の部を岡山発祥の中心地である当新見市におきまして開催いたしましたところ関係各位の絶大なる御援助を賜りまして誠に盛大に終始いたしましたことを心から感謝しております。

和牛界は昭和27、28年の好況を境に以後久しく低迷し苦難の時期が続きましたが、本年初めより再び価格も上向いてまいりまして漸く和牛飼育農家の前途に明るい希望の持てる状況となって参りましたことは誠に御同慶にたえないところでございます。

御承知のとおり本県は古来全国的な和牛の名産地でその飼育頭数は最近稍減少したとはいえなお県内総家畜頭数の7割に当る約10万頭が飼育されその粗生産額は年額12億内に達し、しかも2万3,000頭を県外に移出しておりまして依然として本県畜産の大宗をなしております。

このように和牛の重要性が大きければ大きいほどこれに対する改良増殖或は経営技術の改善等が重要となってまいりますので県におきましてもさきに和牛振興対策を立案いたしまして優良種畜の確保繁殖成績の向上草地改良による飼料自給の促進去勢牛の

短期肥育の普及奨励取引の改善と共同出荷等につきまして強力に諸施策を講ずることにいたしております。

出品者の各位におかれましては今回は和牛飼育農家の選手としてそれぞれ立派な牛を出陳いただきましたことに対して深くお礼を申し上げますと同時に優秀な成績を納められました各位の平素からの御労苦に心からおめでとうを申し上げたいと存じます。

終りに開催にあたりまして当新見市は勿論地元関係各機関から寄せられました物心両面にわたる絶大なる御支援に対しまして心から謝意を表しまして粗辞ではございますが御挨拶といたします。